

季刊号



2021 (第 36 号)
2021.06.25 発行

特集
生協入門



2021 (第 35 号)
2021.03.25 発行

特集
手ざわりある情報技術の使い方
総論
AI を多面的に考える



2020 (第 34 号)
2020.12.25 発行

特集
コロナに克つ〜つながりと協同の
新たな地平へ
座談会
コロナ禍のもとでのくらしと生協



2020 (第 33 号)
2020.09.25 発行

特集
くらしと協同をたずねて
研究紹介
地域フードシステムを育む協同組合の可能性
食や農を「つなぐ」アプローチとしての
ツーリズム



2020 春号 (第 32 号)
2020.03.25 発行

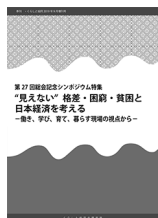
特集
サステイナブル・コミュニティ=やさしく、
しなやかに続く地域をつくる
総論
脱プラスチック社会は可能か



2019 冬号 (第 31 号)
2019.12.25 発行

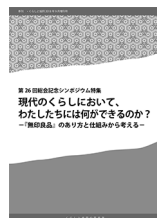
特集
多様な立場から考える食の科学技術
ーゲノム編集技術に着目してー
総論
科学技術とどのように向き合うか

増刊号



2019 年 9 月増刊号
2019.09.25 発行

第 27 回総会記念シンポジウム特集
“見えない” 格差・困窮・貧困と
日本経済を考える
ー働き、学び、育て、暮らす
現場の視点からー



2018 年 9 月増刊号
2018.09.25 発行

第 26 回総会記念シンポジウム特集
現代のくらしにおいて、
わたしたちには何ができるのか？
ー『無印良品』のあり方と
仕組みから考えるー

編集後記

震災から 10 年を迎え、1 年の延期の末、東京オリンピック・パラリンピックも開催されました。開催が決定した 2013 年、掛け声となったのは「復興五輪」という言葉でした。五輪と復旧・復興を結びつけたこの言葉は、決定から開催までの 8 年間、被災地に、そして私たちにどのように響いてきたのでしょうか。シンポの報告からも明らかのように、復旧・復興は道半ば。10 年という時間に見合う実践ができたかどうか。改めて振り返る必要があると感じます。

「天災は忘れられた頃来る」という言葉がありますが、「忘れていない」「覚えている」だけでは無意味でしょう。どれだけ真剣に我が事として考えられているか。そうした視点を持続けるきっかけを、今後も作っていかねばと思います。(太)

季刊 くらしと協同 (第 37 号) 2021 年 9 月 25 日 発行

編集企画	『くらしと協同』編集委員会	電 話	075-256-3335
編集長	加賀美太記	F A X	075-211-5037
発行所	くらしと協同の研究所	E-mail	kki@ma1.seikyoku.ne.jp
理事長	若林靖永	U R L	http://kurashitokyodo.jp
住 所	京都市中京区烏丸通二条上る時絵屋町 258 コープ御所南ビル 4F (〒604-0857)		